

★ 第 130 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2015 年 12 月 12 日（土）～13 日（日）

会場：下関市立大学（本館 I 棟 2 階 I-206 教室）

〒751-8510 下関市大学町二丁目 1 番 1 号

電話 083-252-0288 FAX 083-252-8099

※持ち時間は **30 分**（報告 20 分：質疑 10 分）が標準です。レジュメや資料は 40 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクター、DVD、ビデオが使えます。

12 月 12 日(土)

開 会 14:00

自由報告部会 I (14:05～15:35) 司会：坂口 桂子（大分県立芸術文化短期大学）

1. 「信頼はフリーライダーを抑止するのか」 三隅 一人（九州大学）
2. 「若者のコミュニケーションにかんする考察
—大学生の浮気にたいする態度に注目して」 高木 一也（九州大学）
3. 「日本映画における同性愛者像についての考察」 井上 智史（九州大学）

=Coffee Break(15 分)=

自由報告部会 II (15:50～17:20) 司会：佐々木 武夫（西南学院大学）

1. “Gender and Housing Ownership” Li Rui（九州大学）
2. 「分断社会と歴史教育に関する予備的考察
—北アイルランドの事例から」 福井 令恵（九州大学）
3. 「南海トラフ巨大地震被災想定地域の研究」 室井 研二（名古屋大学）

懇親会 18:00～ 厚生会館 2 階「談話室」

12 月 13 日(日)

自由報告部会 III (9:45～12:00) 司会：高橋 征仁（山口大学）

1. 「地方都市における老人クラブの現状と課題
—Y 市シニアクラブ連合会の事例から」 張 乾坤（九州大学）
2. 「流動人口の就職状況影響要素についての研究
—北京市の流動人口の実証研究に基づいて」 曹 家寧（九州大学）

=Coffee Break(15 分)=

3. 「HTLV-1 関連疾患当事者団体に見る当事者運動の分析」 桑畑 洋一郎（梅光学院大学）
4. 「集団内部の不均一さという謎
—対面的相互作用での感情の共振的性質」 石橋 潔（久留米大学）

閉 会 12:00